

4月26日 教育子ども委員会（さしあこ委員、高橋ゆうすけ委員）

名古屋市学校施設
リフレッシュプラン

学校施設を計画改修で80年使用に 学校統廃合も前提のプラン

教育子ども委員会にて4月26日、市立学校施設の改修や改築時期に関する「リフレッシュプラン案」と、「市立幼稚園の今後のあり方に関する実施計画案」が示され、質疑が行われました。

小学校262校など415校を長寿命化

「学校施設リフレッシュプラン案」は、これまで40年で建て替えていた学校を、トイレや外壁、配水管、空調、プールや運動場などを20年ごとに計画的に改修を行うことで、80年使用する考え方です。同時に、人口減少や財政状況から「保有資産量の適正化」（学校の統合）も必要だと述べています。

ユニバーサルデザインの推進を

さしあこ議員は、ユニバーサルデザイン（全ての人がいややすいように建物などをデザインすること）の取り組みを質問。段差のない動線確保や多目的トイレ、絵文字の表示などを、改築の際はもちろん、築40年を目安に行うリニューアル改修でも取り入れていきたい、との説明がありました。さし議員は、学校施設は避難所等としての役割もあるので、誰もが使いやすいデザインの導入推進を求めました。

財政難を口実に統廃合も視野に

改修が進まない現状についての質問には、昭和60年代から老朽化対策事業を計画的に実施してきたが、1995年の阪神大震災以降は耐震改修を重視し耐震化率100%を達成したが、

学校施設リフレッシュプランの長寿命化についての概要

グループ	現在の築年数	改修時期	改修の内容
Aグループ	築50年以上 (~1966年)	築60年	保全改修+設備改修
		築80年	改築
Bグループ	築41~49年 (1967~1975年)	築50年	リニューアル改修
		築80年	改築
Cグループ	築36~40年 (1976~1980年)	築40年	リニューアル改修
		築60年	保全改修
		築80年	改築
Dグループ	築21~35年 (1981~1995年)	築50年	リニューアル改修
		築80年	改築
Eグループ	築20年以下 (1996年~)	築20年	保全改修
		築40年	リニューアル改修
		築60年	保全改修
		築80年	改築

その間、校舎の老朽化対策あるいは改築事業が少し遅れた、との説明がありました。

さし議員は、「このプランを進めるため統廃合を進めなければならないのか」と質問。当局は「プランの目的に、トータル予算の抑制や予算の平準化もあり、目指すべき姿は財政的に持続可能な範囲」と答えました。さし議員は、「学校の環境整備を進めることは必要だが、財源づくりに学校統廃合も視野に入れた経過になっている」と指摘しました。

市立幼稚園の今後のあり方に関する実施計画

市立幼稚園 3園を廃止 幼児教育センターを新設

この先10年で13%の幼児が減少

「市立幼稚園の今後のあり方に関する実施計画案」では、幼児人口の減少や今日的課題への新たなニーズへ対応するため、32園あった市立幼稚園が現在は23園となっていますが平均充足率は77%という中で、今回の10年計画では幼児の減少分に当たる3園を廃止します。一方で新教育館に幼児教育センターを設立し、各園での教育の成果を私立幼稚園や保育所

などへ広く提供したり、職員研修を充実するというものです。

利用者に配慮を

高橋ゆうすけ議員は「市立ならではの授業の質や授業料をはじめ、特別な配慮を必要とする子どもへの支援ができる市立幼稚園の存在は大きいと思う。私立幼稚園や保育所などでも、そういった実践・指導の連携、指導力向上のための連携ができるように追及をすべき」と求めました。

市立幼稚園の今後のあり方に関する実施計画（案）より 園児数は今年度

園名	園児数(定員)	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
報徳(北区)	44人(85人)	3歳児の最終募集	3歳児の募集停止	4歳児の募集停止	年度末閉園	——	——
はとり(中川区)	49人(85人)		3歳児の最終募集	3歳児の募集停止	4歳児の募集停止	年度末閉園	——
比良西(西区)	55人(85人)			3歳児の最終募集	3歳児の募集止	4歳児の募集停止	年度末閉園

上の2計画についてパブリックコメント募集中です。5/26~6/26。意見を出しましょう